



特集1 まちを守る！

消防団を ご存じですか？

消防団という名前や存在は知っていても、
何をしているのかは分からない…
という人は少なくないかもしれません。
市民の一人でもある消防団員の皆さんは、
地域に最も近い消防防災のリーダーです。
近年頻発している地震や災害に備える上でも、
消防団の役割を理解しておきましょう。

CONTENTS

季刊むさしの 冬号
2023 No.144

1 特集1 まちを守る！ 消防団をご存じですか？

8 TOPICS 1 エコなアクションで暮らしを変えよう！ 気候危機打開！ むさしの市民エコアクション

9 TOPICS 2 より安心して過ごせるまちに！ 勧誘行為等適正化特定地区を見直しました

10 武蔵野ストーリー 学校設立から150年 まちと学校

12 むさしの仕事図鑑 テレビ制作スタッフってどんな仕事？

14 特集2 みんなでスポーツを応援しよう！

19 市民のチカラ Meet むさしの

20 武蔵野スケッチ物語 No.90 御殿山一丁目にて／連載90回記念インタビュー

22 TOPICS 3 気軽にご相談ください！ ひきこもりサポート事業

23 読者からのお便り／アンケートハガキ

25 TOPICS 4 第4期健康福祉総合計画などを策定しています

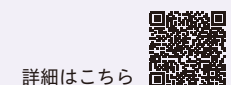
26 武蔵野カルチャーガイド 武蔵野市民文化会館／吉祥寺美術館

28 むさしのスタイル 53 武蔵境駅の高架下

30 むさしのTALK 穂村 弘さん（歌人） “現実の風景と自分の体験、漫画で見た記憶とが ごっちゃになって時空を超えた脳内都市”



12月24日（日）
武蔵野市長選挙
武蔵野市議会議員補欠選挙



詳細はこちら



今号の表紙 武蔵境駅北口のイルミネーション（境1丁目）

駅前にイルミネーションがとり始めると年の瀬に近いことを実感します。市内には3つの駅がありますが、武蔵境駅北口駅前広場も毎年趣向を凝らした飾り付けが華やかです。暮れが近づきどこか物寂しくなる頃。日も短くなり油断しているとすぐにたそがれ時です。街を明るく照らしてくれるイルミネーションを眺めていると心も温まります。

武政 諒（たけまさりょう）

1981年生まれ。武蔵野市在住。武蔵野美術学園卒業。武蔵野美術大学卒業後、フリーのイラストレーターとなる。国内外の書籍や雑誌、広告などで活動中。
<https://ryotakemasa.com/>



訓練は、単なるまね事ではなく緊張感を持って取り組んでいます。例えば、ポンプ車の乗車・降車方法にも決まりがあって、間違えるとケガにつながることもあるのでみんな真剣です！

令和5年の操法訓練の様子。放水訓練、ポンプ車の操法訓練などを行いました



訓練

消防団全体では「放水訓練」のほか、ポンプ車の操作を身に付ける「機関運用訓練」、消火栓とポンプ車をつないで水を出す「操法訓練」がそれぞれ年1回実施されます。いずれも大掛かりな訓練となるため、消防署の訓練施設や、夜間に市役所の駐車場で行います。このほか、分団ごとに定期的な自主訓練も欠かせません。

消防団って どんな活動をしているの？

消防団員には
いろいろな活動
があります！



武蔵野市消防団 第10分団
谷合さん

普段の仕事は
自動車整備業です



消火活動

火災が発生すると、消防署から出火を知らせるメールが各消防団員の携帯電話に届きます。出動可能な団員は担当地域の詰所に集合し、防火衣に着替えてポンプ車で現場へと急行します。火災現場では、消防隊の放水を補助するほか、周囲の建物に延焼していないか状況の確認、住民の避難誘導など、さまざまな後方支援を行っています。



市内には10カ所の消防団が配備されていて、団ごとに担当地域があります。火災の規模などによっては、隣接地域の消防団が協力して出動することもあります

令和5年1月～11月の消防団の出動は39回（そのうち第10分団の出動は10回）でした



毎年8月に行われる「はらっぱ防災フェスタ」は多くの市民が来場します



啓発活動

市民が日ごろから防火に対する意識をもち、安心・安全に暮らせるように活動しています。毎年、春と秋に「火災予防運動」を、12月には「歳末消防特別警戒」を実施しています。期間中、各分団はそれぞれの管轄地域をポンプ車で巡回パトロールしながら、マイクを使って火災予防を呼びかけます。ほかに、市主催の「はらっぱ防災フェスタ」などにも参加しています。

啓発のためのパトロールは、消防庁が制定する「全国火災予防運動」に合わせて実施しています。火災の発生を未然に防ぐためには、こういった活動も大切なんですよ



杵築大社（境南町2丁目）の例大祭で警備を行いました

団員も住民の一人ですから、地域活動をととても大切にしています。消防団の認知向上のためにも、火災・災害時だけでなく普段から地域の方々との交流を心掛けています



地域活動

消防団の周知や消防の知識を広めるために、地域のイベントや行事には積極的に参加しています。例えば、お祭りなどでは警備・警戒を行うほか、依頼に応じて防災啓発品を配布したり、消防団車両の展示を行うこともあります。このような機会では、未来の地域防災を担う子どもたちとの触れ合いも大切にしています。

地域の消防団（詰所）を紹介します

第1分団

吉祥寺南町5-2-14

第2分団

吉祥寺本町1-27-2

第3分団

御殿山1-6-1

第4分団

吉祥寺北町1-19-1

第5分団

吉祥寺北町3-5-22

第6分団

西久保3-16-7

第7分団

関前3-11-6

第8分団

境3-17-11

第9分団

桜堤2-1-21

第10分団

境南町2-19-13

自分が住んでいる地域の消防団（詰所）の場所を確認しておこう！



19:40 定例会・整備点検

定例会は、団員の仕事に影響がないよう夜間に設定。この時、毎回必ず行われるのが整備点検です。ポンプ車の状態、車両に積載している資機材の数量や損傷の有無、正常に作動するかなど、一つひとつ細かくチェックしていきます。



水量や圧力など、揚水状態が液晶画面に表示される消火ポンプ操作盤



消防ホースは常に数十本用意。収納場所によって巻き方も異なります



消防ホースの移動に欠かせないホースカーは車輪の状態もチェックします



夜間の災害現場などで活躍する発電機・投光機。燃料や動作は…異常なし！

整備点検は記録簿の項目に沿って行います。いつ災害が起きても対処できるよう、これも欠かせない作業です



炊き出しの練習も兼ねて食事作りも行います

19:30 消防団詰所に集合



毎回30分から1時間かけて巡回しています。定期的に行うことで、地域の些細な変化にも気付くことができます



20:00 巡回

ポンプ車両や装備類に問題がないことを確認したら、そのまま管轄地域のパトロールに出動。夜間の巡回は、防災だけでなく防犯にも一役買っています。



巡回の際は、音は出さずに赤色灯のみ点灯させて走行しています

普段はどんなことをしているの？

災害が発生すると、消防団は消防署や警察署など関係機関と連携をとりながら現場で消火・救助をサポートします。では、いざというときのために普段はどんなことをしているのでしょうか？今回は消防団第10分団取材しました。

月2回、整備や点検を兼ねた定例会を行っています

普段の仕事は造園業です



武蔵野市消防団 第10分団
船木さん

21:00 解散

／ お疲れ様でした！ ／



建築業や造園業、飲食業…と職業はバラバラでも団結力は揺らぎません

定例会のあとは、詰所で夕食をとります。この夕食も、炊き出しの対応に備えて団員が手作りしています





人と人とのつながりが 地域の安心・安全を築く

武蔵野市消防団 第10分団 分団長
高橋清泰さん

同じ志を持つ仲間だからこそ
地域に尽くすことができる

消防団は、消防署の常勤職員とは異なり、会社員や自営業者など団以外の仕事にも就いている人がほとんどです。私も普段は建築士として働きながら、20年以上消防団の一員として関わり、現在は所属する第10分団の分団長を務めています。消防団は、火災など災害時のみ活動するのではなく、このような有事に安全かつ確実な対応ができるよう、平時から訓練や点検、団員同士の交流が必要です。ま

日ごろの何気ない交流が
地域の防災力にも大きく役立つ

た、市民に防災意識を持ってもらうための啓発運動や、地域内の行事での警戒業務など、活動の範囲は多岐にわたります。本業を持ちながら団員を続けることは容易ではありません。それでも消防団という組織が維持できているのは、職業や年齢は違えども「自分たちのまちは、自分たちで守る」という共通の志を全員が持ち、それが団の結束力につながっているからだと思います。

武蔵野市は、耐震化に力を入れたり、住民が主体となって活動する「自主防災組織」が各地域に設けられるなど、防災力が強化されています。市内の火災は減少傾向にありますが、一方で誤報は非常に増えています。これは、人と人とのつながりが希薄になり、ちょっとした変化を冷静に見極められなくなっていることも要因の一つではないでしょうか。有事では行政の助けだけではなく、住民同士の情報交換や連携が大変重要です。そのために、日ごろからのコミュニケーションを大切にしたいと思っています。



はらっぱ防災フェスタの様子

この記事が、地域のために頑張る消防団について理解するきっかけになればと思います。



防災課
小澤舞子さん

消防団では、なりわいを持ちながら地域の安心・安全のためにさまざまな活動をしています。火災時の消火活動や訓練はもちろん、地域の催し物やお祭りなどの警備、ポンプ車を利用した地域巡回など、皆さんの身近なところで街の安全を守っています。

武蔵野市消防団 年間スケジュール

地震や災害に備える訓練や市民の方々との交流など、一年を通してさまざまな活動を行っています。

8月

はらっぱ防災フェスタ

子どもから大人まで、楽しく体験しながら防災に関する知識を学ぶ、市主催のイベントです。消防団員も毎年参加しています。



9月

操法訓練

消防活動における基本操法の訓練を各分団1回ずつ市役所駐車場で行います。



10月

総合防災訓練

放水演技、煙体験、初期消火体験などの訓練を行います。



11月

秋の火災予防運動(9日～15日)

各分団2回、ポンプ車で巡回して警戒広報活動を行います。

12月

歳末警戒

12月に各分団5回、ポンプ車で巡回して警戒広報活動を行います。12月26日に市長、副市長、市議会議員、都議会議員、消防署長が全分団の巡視を行います。



1月

出初式

消防団の仕事始めの儀式です。屋外で開催する際には放水・操法演技や徒列・ポンプ車行進などの消防演技を披露したり、消防団員の表彰式を実施しています。



3月

春の火災予防運動(1日～7日)

各分団2回、ポンプ車で巡回して警戒広報活動を行います。

4月

基礎教養訓練

座学で消防署教官から基礎的な火災対応の知識を学ぶ訓練です。



5月

水防訓練

浸水被害を想定し、連結水のう工法、積み土のう工法、マンホール噴出防止工法などの訓練を行います。



6月

機関員訓練

ポンプ車の運転、ポンプ操作を習得するための訓練を各分団1回ずつ市役所駐車場で行います。

放水訓練

消火活動を想定して、実際に消火栓から水を出して行う訓練です。令和5年度は東京消防庁第3方面本部の訓練施設で実施しました。

